



エフピコ・エレナ「ストア to ストア」の協働強化 ～2026 年 3 月期に「年間 341t」の CO2 排出量削減を目指す～

株式会社エフピコ（代表取締役会長：佐藤 守正、以下「エフピコ」）と株式会社エレナ（代表取締役社長：中村 憲治、以下「エレナ」）は、エレナの 40 店舗において行っている、店舗で回収された使用済み食品トレーやペットボトルを新たな食品トレー・透明容器に生まれ変わらせ、再び各店舗で使用する「ストア to ストア」の水平リサイクル^{※1}を強化いたします。

エフピコとエレナは、「お店がその地域のエコリーダー」となることを目指し、地域の環境負荷低減とリサイクル資源の有効活用を積極的に行い、持続可能な循環型社会の推進に貢献してまいります。

本取り組みについて

エレナでは、地域の皆さまのご協力のもと、店舗に設置された回収ボックスで使用済み食品トレーやペットボトルを回収しています。それらはすべて、エフピコで大切な資源として活用され、「エコトレー」などの環境に優しいエコ製品^{※2}に生まれ変わり、再びエレナの売り場で使用されます。「お店」が起点となり資源が循環する「ストア to ストア」の水平リサイクルの取り組みは、お客様の日頃からの回収へのご参加と、店舗スタッフによる運営管理によって成り立っています。

CO2 排出量削減による環境貢献の現状と目標

エレナでは、エコ製品を積極的に使用することで 2025 年 3 月期に 326t の CO2 排出量を削減することができました。今後もこの取り組みを強化し、2026 年 3 月期には 341t の CO2 排出量削減を目指してまいります。

エコ製品の使用拡大と回収量の目標

引き続きエコ製品の使用を拡大し、特に刺身や寿司容器における蓋のエコ化を進めてまいります。また、回収量については、2025 年 3 月期に使用済み食品トレーを 58t、ペットボトルを 20t 回収することができました。2026 年 3 月期には食品トレー62t、ペットボトル 40t の回収を目指し、特に食品トレーのうち、透明容器の回収量を前年比で 15%増やすことを目標としています。お客様の水平リサイクルへの参加を促進するため、CO2 削減実績を記したポスターの掲示も積極的行います。

※1 水平リサイクル：リサイクル前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法

※2 エコトレー：店頭回収された使用済み発泡トレーを新たなトレーとして生まれ変わらせたリサイクル発泡トレー

エコ APET：店頭回収された透明容器やペットボトルを原料とした再生 PET シートを用了リサイクル透明容器

エコ OPET：エコ APET 同様に再生された PET シートを縦・横方向に延伸させ、PET 素材の特性ある耐油性、透明性を維持した上で、80℃の耐熱性と耐寒性を実現したリサイクル透明容器

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレー to トレー」「ボトル to 透明容器」による地上資源の循環及び CO2 排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地：〒163-6036 東京都新宿区西新宿 6 丁目 8 番 1 号新宿オークタワー36 階

代表者：代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設立：1962 年 7 月

HP：https://www.fpc.co.jp/

【みんなでリサイクル】エフピコ みんなでリサイクル | 株式会社エフピコ

<株式会社エレナ>

長崎県・佐賀県に展開する地域密着型のスーパーマーケットです。生鮮食品を最重要の品揃えと考え、どこよりも新鮮な食材をお届けすることを大切にしています。牛乳パック・ペットボトル回収など環境保全活動にも積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地：〒857-1198 長崎県佐世保市大塔町 8 番地 2

代表者：代表取締役社長 中村 憲治

設立：1959 年 4 月

HP：https://www.ellena.co.jp/

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 エレナ

電話番号 0120-80-7540